

1 学校教育目標	
生徒一人一人の人権を尊重し、主体的に学ぶ意欲と社会性豊かな「生きる力」を育み、多様な社会に貢献・活躍できる知・徳・体の調和のとれた生徒を育成し、保護者・地域からの信頼される教育活動を充実させる。 「教育指針」 自ら学ぶ 豊かに鍛える 共に歩む	
2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像	
学校像	全ての生徒が自分の長所や可能性を認識し、他者とお互いが価値ある存在として認め合い、社会をたくましく生き抜くために必要な能力や態度を身に付けた生徒を育てる学校 ・ 自ら学ぶ力を育む学校 ・ 豊かに鍛える学校 ・ 共に歩む「地域立中学校」
児童・生徒像	夢と希望、笑顔あふれる生徒・苦しいことに屈せず、やり抜く抜く生徒 ・ 自ら学ぶ生徒 ・ 豊かに鍛える生徒 ・ 共に歩む生徒
教師像	学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、生涯を通じて学び続け、生徒個々の力を最大限に引き出し、生徒の主体的な学びを支援する「伴走者」として邁進する教師
3 学校の現状及び前年度の成果と課題	
<p>1 学校の現状</p> <p>(1) 各学力調査の結果は、区平均・都平均等を下回る学年や教科が多い。教員は授業改善を図っているが、「家庭学習」の定着が最も必要である</p> <p>(2) 生徒1人1台のタブレットの配備により、A Iドリル等を活用した個に応じた学習を取り入れることができた。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスの感染予防による学校生活への行動制限が少しずつ緩和され、3年ぶりとなる行事が実施できるようになった。</p> <p>(4) 本校独自のポジティブな行動支援の取組である「なのしかP B S」(Positive Behavior Support＝積極的行動支援)が定着してきた。</p> <p>(5) 3年ぶりに小中連携事業を実施することができた。</p> <p>2 成果</p> <p>(1) 基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上から、授業規律が遵守され、整然としながらも主体的な授業が展開できるようになった。</p> <p>(2) タブレットの管理とA Iドリル等の活用について、検討と指導が必要である。</p> <p>(3) 運動会、学習成果発表会は、感染予防以前の形態を変えながらも、生徒の創造性により新たな形で運営された。また、第3学年修学旅行、第1・第2学年魚沼自然教室、7組鋸南宿泊学習と宿泊行事も実施することができた。これらの行事により、集団生活の向上を図ることができ、授業規律や基本的な生活習慣においても落ち着いた行動がとれるようになってきた。</p> <p>(4) 生徒の人権を尊重した教育を推進することができた。</p> <p>(5) 小中連携事業は、外部講師を招聘した教員研修会を1回、指導案検討と授業研究を2回ずつ実施し、「主体的・対話的で深い学びの授業づくりからの学力向上」について研修を深めた。また、部活動体験等の生徒と児童の交流活動により、小中9年間の円滑な接続を目指す。</p> <p>3 課題</p> <p>(1) 授業、朝学習、放課後補習のみならず、家庭学習が習慣となる指導を展開する。</p> <p>(2) タブレットの有効活用と個別最適化の指導について、研鑽を積む。</p> <p>(3) 感染予防を徹底しながら、様々な行事や特別活動をとおして、積極的に生徒の主体的活動を展開させる。</p> <p>(4) 「なのしかP B S」を基本とした人権尊重を教職員のみならず、生徒及び家庭や地域にも波及させる。</p> <p>(5) 小中連携事業により、9年間を見通した授業改善と児童生徒の共通理解による円滑な接続を行う。</p>	

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	◎	◎	◎
2	基本的な生活習慣の確立		○	◎	◎	◎
3	人権教育のさらなる推進	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
家庭学習の定着による基礎基本の定着	R5 区学力調査目標達成率 60% (R4 : 52.4%) 到達度確認調査正答率 60% 家庭学習習慣化 80%	自己評価の際に記入		

B 目標実現に向けた取組

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	家庭学習の習慣化	全生徒 全教科	年間	家庭学習ノート 課題プリント タブレット	生徒調査	家庭学習の習慣が ついた 80%以上	自己評価の際に記入		
継続	授業改善	全教科	通年	全教科 わかりやすい授業	授業観察 生徒、保護者 調査	生徒、保護者調 査 90%以上			
継続	単元テスト	全教科	単元 終了時	全教科 単元テスト	教科ごと	教員評価 90%以上			
継続	学習コンテスト	国数英	年3回	漢字・計算・英語	学習コンテスト	学習コンテスト 合格率 80%			
継続	鹿浜菜の花 タイム	全生徒	年間	教科補充、質問教室 タブレット学習 コンテスト学習	教員学校評価	有効 80%以上			

継続	朝学習 朝読書	全生徒	年間	タブレット学習 ドリル学習、読書	教員学校評価	有効 80%以上	
継続	小中連携	全教員 全教科	年7回	鹿浜第一小・鹿浜未来小 鹿浜五色桜小 授業研究・講師招聘	教員学校評価	連携を必要 80%以上	

重点的な取組事項－2	基本的生活習慣の確立
-------------------	------------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的生活習慣の確立	生徒評価 90%以上		自己評価の際に記入	

B 目標実現に向けた取組					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自らあいさつができる	生徒評価 90%以上	毎朝 昇降口あいさつ活動 教員からの積極的声掛け	自己評価の際に記入		
時間を守る	生徒評価 90%以上	遅刻指導			
みだしなみがきちんとして している	生徒評価 90%以上	日常的指導			
ことば遣いが適切である	生徒評価 90%以上	日常的指導			
正しい姿勢で授業を受けて いる	生徒評価 90%以上	日常的指導			

重点的な取組事項－3	人権教育のさらなる推進
-------------------	-------------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
「なのしかPBSのさらなる推進」 ポジティブな行動支援の継続 自己肯定感の向上	生徒評価「自分にはよいところがある」80%以上		自己評価の際に記入	

B 目標実現に向けた取組					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自分にはよいところがある	生徒評価 90%以上	生徒会主催「やさしい木」等の取組	自己評価の際に記入		
自尊感情が高まる教育 をしている	教員評価 90%以上	教員による「なのしかPBS の推進」			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入